

Ⅲ モデル事業と実証実験の概要

(3) 大街道商店街の特徴と使われ方

①大街道商店街の空間的特徴

i) 15mという広い幅員である。

- ⇒ メリット : 通りとしての格を感じる／ゆとり感がある／イベント活用を可能にする
- デメリット : がらんとした印象をうける／両側を見ながら買物が出来ない。

ii) 直線的に約500m続いている。

- ⇒ メリット : 通りとしての格を感じる／視線が奥まで抜ける
- デメリット : 滞留できる拠り所がない／通過を促す空間となっている

iii) 高さ7m~10mのアーケードがある。

- ⇒ メリット : 天候に左右されない空間／イベント活用を可能にする
- デメリット : 閉塞感がある／天候を感じられない

大街道の空間的特徴には、メリットとデメリットの両方が存在している。
メリットを生かしながら、デメリットを解消する使い方が求められている。

■15mの広い幅員



■500m続く、直線的な空間



■高さ7m~10mのアーケード空間



②大街道商店街の使われ方

3分割の空間

アーケード柱を区切りにして、中央部と左右の3分割で使われることが多く、平日と休日、イベント時と平常時で使い方が異なり、うまく使いこなしている。

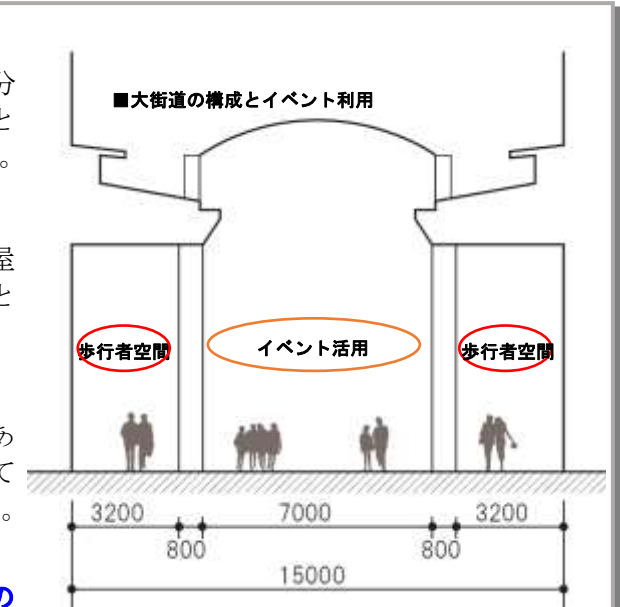
i) イベント時

7mの中央部分を利用して、火曜市やステージ、屋台などを設置している。左右の部分は人の歩く空間としている。

ii) 平常時

15mの広幅員であることや、通過を促す動線であることから、7mの中央部分が人の歩く空間となり、賑わいを感じられず、がらんとした印象である。

広い空間を柔軟に上手く使っているが、イベントの無い平常時の使い方について、特に工夫が必要。



■イベント時：柱内側の7m部分に露店やイベントステージなどが並ぶ（例：土曜夜市）

